

# セ ボ ネ

セ  
タ  
ガ  
ヤ

ボ  
ラ  
ン  
テ  
ィ  
ア

ネ  
ト  
ワ  
ー  
ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン  
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2015.3 No.131

今月のトピック

特集●

世田谷における「若者支援」の現在

まちの市民力！ ● NPO法人 緑のダム北相模

キラリ世田谷人 ● サクマタカシさん



イラストレーション● 山田茉莉

世田谷生まれ世田谷育ち。  
ステンドグラスの技法で、アクセサリーや万  
華鏡などをつくり、出展・販売していました。  
今もアートフリマ等でたまに出店しています。

●わたしの世田谷

都会ですが、色々な植物や動物がいて、四季を  
感じられる世田谷が好きです。これから花の季  
節なので砦公園の桜などお花見するのが楽しみ  
です。

# 世田谷における「若者支援」の現在 ～「野毛青少年交流センター」と「メルクマールせたがや」 の取り組み～



野毛青少年交流センター



メルクマールせたがや

CHANCE-CHALLENGE-CHANNEL

昨年オープンした「野毛青少年交流センター」と「メルクマールせたがや」は、「若者支援」のための施設です。縦割りではなく、切れ目のない「若者支援」を実現するためにそれぞれの施設がどのような思いで、どのような取り組みを行ってきたのかお話をうかがいました。

## 世田谷区における若者支援の 取り組み

世田谷区では、町会・自治会をはじめとする地域コミュニティの担い手の高齢化が進み、未来の地域の担い手となる若者をいかに支えていくかという課題があり、若者を核とした地域活性化が期待されています。

その一方で、少子高齢化の進展や、雇用も含めた社会経済状況の不安定さなど、若者は将来に対する不安を抱えています。2010年の内閣府の試算をもとにすると、ひきこもりになっている区内の若者は約5000人と推計され、生きづらさを抱えたまま自立できない若者や困難を抱えた若者

も多くいます。そこで、区では総合的な若者支援施策を推進するため、2013年4月より子ども部に若者支援担当課を設置。特に「中高生世代を対象とした次代の担い手づくり」や「生きづらさを抱えた若者の新たなセーフティネットの仕組みづくり」を実施計画として位置付けています。昨年オープンした「野毛青少年交流センター」と「メルクマールせたがや」は、その計画の実現を担う若者支援の施設です。



メルクマールせたがやは、世田谷ものづくり学校の建物の3階にある。

※「メルクマール」とは、「みちしるべ」を意味するドイツ語。「若者が進むべき道を発見できるきっかけ」となり、「自立のため準備を行っていく場所」という意味が込められている。

あした、また来なくなる場所に

「メルクマールせたがや」は三軒茶屋と池尻大橋の中間にあり、近くには昭和女子大学、小・中学校や児童館に囲まれる静かなたたずまい。向かいには世田谷公園。校庭で遊ぶ子供たちの歓声も聞こえてくるイキイキした地域でもあり、理想的な立地です。

「メルクマールせたがや」は、ひきこもり等の生きづらさを抱えている人たちの心地よい居場所となり、自立にむけた支援を行う拠点です。訪問した時も、活動ルームで男女4人の若者がゲームを楽しんでいました。

開設は昨年9月。この5ヶ月間奮闘している施設長の鈴木隆之さん、アドバイザーの廣岡武明さんにお話をうかがいました。2人は、臨床心理学を大学院まで学び、現場で経験を積んできた専門家で、とても穏やかで爽やかな笑顔が印象的な、話しやすい方がたです。

した。

「現在、活動ルームの利用者は何名ですか？」

「15名ほどです。男女比はほぼ半々。利用資格は中高生世代から39歳までの世田谷区民ですが、20代の方が多いですね」

「職員は？」

「15名いて、毎日5～6人の勤務体制を組んでいます。臨床心理士や精神保健福祉士のほか、専門的知識を持ったスタッフが常駐しています」

「活動ルームは広いですね。遊び道具もたくさんありますが、どんな活動をしているんですか？」

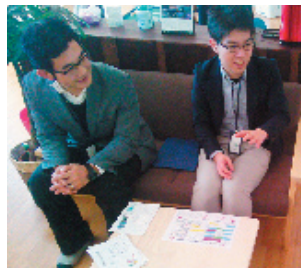
「利用者同士やスタッフと話をしたりゲームをしたりしてコミュニケーションを図っています。グループ活動を多彩にし、一緒に楽しめるプログラムを実施しています。現在実施中の映画会に加えて今後はスポーツなど、活動の範囲を徐々に拡大していくつもりです」

「どのような方からの相談が多いですか？」

「ご本人はもちろんのこと、ご家族からの相談も多いですね。相談の内容によっては家庭訪問もしていますので、お気軽にご相談下さい」



リビングのような落ち着いた雰囲気  
の活動ルーム。もとは空き校舎  
だったので、黒板はそのまま活用。



写真左が廣岡さん、右が  
鈴木さん。

「家族会もあるのか？」

「月に1回開催しています。時には講師を招いての課題発見、話し合いをしています。家族同士の交流を図り、問題を共有することが目的で、利用者の自立につなげたいと思っています」

「最後に一言お願いします」

「メルクマールせたがやに来て、安心できる居場所ができたと思ってもらえるように、利用者や家族と一緒に考え、取り組んでいきます」

(取材／市川・迫、文責／迫)

ひろがるつながる「のげ青」

「野毛青少年交流センター」は、もともと社会教育施設の「青年の家」として使われていた施設。近年、利用者の減少が進み、この施設で民間の新たな発想による事業展開を図つていこうと、2014年4月にリニューアルオープンし、若者支援の取り組みに40年の



センター長の佐藤さん

経験ある「NPO法人文化学習協同ネットワーク」が世田谷区から受託して運営しています。

今回の取材に対応いただいたのはセンター長の佐藤真一郎さん。現在の利用登録者数はなんと約450名！中学生が大多数ですが、近くに児童館がないため意外と小学生の利用が多いのだとか。ほとんどがクチコミで来ているそうです。

佐藤さんによれば、ここでは「元気な若者」、「生きづらさを抱えた若者」といった枠で捉えるのではなく、どんな若者でも受け入れるユニバーサルな支援を目指しています。生きづらさを抱えた若者たちが過ごしやすい場所は、誰にとつ



多摩川と環八の間に位置する。上野毛が等々力が最寄り。

ても過ごしやすい場所であるはず。実際、利用中の中学生に話を聞いてみると、家が近いのでほぼ毎日のようにここに通っているとか。この場合は異年齢かつ多様な若者や子どもたちが集まる場にもなっていて、学区を越えた友達もできていくそう。

若者や子どもたちは、フリースペースでおしゃべりしたり勉強したり、ホールで体を動かしたり、視聴覚室でバンド練習をしたり、自由にに過ごします。その中で「何かやってみたい」という若者や子どもたちのつぶやきがあれば、そ



写真中央奥、壁の絵は若者たちが描いた大きな船。

れをスタッフが拾って、みんなで参加できるプログラムをつくったりしています。

2階にはキッチン付きの食堂があるので、クッキングプログラムも行っています。そして来年度の目玉事業として、ここを利用者参加型でカフェの雰囲気デザインしようと考えているとか。そのくらいとしては、静かな立地条件と設備条件を活かし、腰をすえてじっくりとプロジェクトに取り組み、若者自身の手で場を創造してほしい、と考えているそうです。

佐藤さんはここを利用する若者たちについての期待とこれからの展望をこう話します。「受動的に生きるよりも主体的に人生を切り開いて、社会との折り合いを上手につけられる大人になってほしい。そのために、各種プログラムを通じて、いろいろな世代の大人や地域と接する機会を設け、社会と出会う経験をつくっていききたいです」

(取材・文責／市川)

より身近な支援をめざして

世田谷区のように、行政として就労にこだわらない若者支援施策を進めるのは珍しいことだ、とメルクマールセタがやの鈴木さんが話していました。これだけでも大きな意義がありますが、特に就労以前の段階として、それぞれが別々の運営団体でありながら、社会との接点を持つていこうという段階（メルクマールセタがや）と、

その次の仲間づくりをしていこうという段階（野毛青少年交流センター）を結びつけようと、両施設が連携を模索している点はとても興味深く感じました。

しかし、今回の取材から感じた大きな課題は「世田谷区の広さはどう克服するか」ということでした。野毛青少年交流センターの佐藤さんの話によると、ヨーロッパでは中学校区にひとつユースセンターと呼ばれる若者支援の施設があるとのこと。両施設とも、なるべく外に出て行ったり、さまざまな地域団体との関係づくりをすめています。現在の運営体制や地理的な制約から、やはり利用者は近所に限定されてしまいがちであることを課題に挙げていました。広い世田谷区をカバーするためにも、将来的には各地域にこうした施設や機能が増えていってほしいと感じました。

(取材／市川徹・迫雅之)



代表理事の石村さんご夫妻  
市民の森づくりが地球を救う

## NPO法人 緑のダム北相模

# まちの 市民力!!

取材・星野 弥生

●そこで暮らす  
地域や活動している  
街の中と一緒活動する  
人たちが紹介する  
団体を紹介し

意味が込められて  
います。相模湖の  
そばにある森林と  
いうダム。とても  
素敵なネーミング  
です。

それから15年。

1998年春、陣馬山に登った  
帰りに目にした森の光景に石村  
黄仁さんはびつくりします。「木  
そのものが生き物であるにぎやか  
なところと想像していたのに、まる  
で墓場のよう。いったい何なのか  
！」その直後、WWF（世界自然  
保護基金）による「地球環境は大  
変になりつつある」という新聞記  
事とその景色が重なりました。  
「気がついたら、自分でやれば  
いい」と森の地主との交渉を開始。  
その年の11月に仲間を募って倒木  
の片付けなど森の整備活動を始め  
たことが、NPO法人「緑のダム  
北相模」の原点となりました。「緑  
のダム」には、「森の保水力」の

「素人に何ができるか」「出ていっ  
てくれ」と言われたこともあった  
3年間は試練の時でしたが、理解  
を示し「今日から一切の管理を任  
せる」と言ってくれた地主さんに  
出会い、相模ダムに隣接した41ヘ  
クタールの「若柳嵐山の森」が現  
在まで続く活動の基地になります。  
2005年には森林管理の国際認  
証であるFSC（森林管理協議会）  
から、国内では初めてのNPOと  
しての認証を受けました。  
「森がなかったら空気も水もあり  
ません。世界中で年間1400万  
ヘクタールずつ森林が減っている  
ので、あと300年でなくなつて  
しまう計算になります。気がつけ  
ば間に合うかもしれないのです。

戦争なんかしているヒマはない」

石村さんのいう「ひとりの専門  
家より99人の普通の人」が、その  
事実には気づいて意識を変えること  
がまず必要です。そんな「普通の  
人」が毎月第3日曜日に70人近く  
集まって森に入ります。森林整備  
作業をして、お昼には大鍋のスー  
プを頂き、同じ釜のメシが交流の  
輪を広げます。子どもたちは「カ  
ブトムシ牧場」で遊び、「森の音楽  
会」が開かれることも。麻布大学  
を中心とした学生団体「フォレス  
トノバ」など、次の世代が育つて  
いるのが頼もしい限りです。様々  
な分野の専門家たちも手弁当で参  
加します。「理念があるから、神様  
のおつかいのように得意分野を持  
つ人たちが集まってきました。森に  
関してはプロ集団ですね」

「森林破壊という負の遺産を子孫  
に残してはならない」という理念  
が、「まだ間に合うかもしれない」と  
と共感した多くの人々を清々しい  
森へと誘います。



マジックでボランティア  
サクマ タカシ さん

軽快な音楽にのってハンカチが折り鶴になったり、一瞬で千円札が消えてしまったり。サクマタカシさんはそんな楽しいマジックのボランティアを、もう20年以上も続けています。

デイサービスや区民センター、商店街のイベントなど、仕事の合間を縫って月に5、6回は出演、毎年1回独演会も行っています。マスターしているマジックは100以上、家じゅう小道具だらけです。

池尻で生まれ育ったサクマさんは小学3年生の時、三宿神社のお祭りでマジックに出会い、人を不思議な世界へ誘い込む面白さに夢

や  
せた人が  
キラリ

世田谷を中心に活躍する  
キラリと光る素敵な方がたを  
ご紹介します  
取材●家井 雪子

中になりまして。中学以降はしばらく遠ざかっていましたが、社会人になって友人の結婚式でマジックを頼まれたことから、再び始めるように。サークルに入って練習を積み、やがてボランティア仲間と出会って世田谷区内を中心に活動を始めました。

「ボランティアのマジックは、ただかっこよくキメるだけではダメです。見ている人との心の交流がなければ楽しんでもらえません」というサクマさんは、施設の職員さんから多くのことを学んできたといいます。必ず相手の名前を呼び、マジックが決まった時には拍手を促すのも、頭や心を動かしてもらうため。

「トークの時に話しかけたり、小道具にさわってもらったりして

るうちに、お客さんの緊張が解けてきます。認知症が進んで初めは何が行われているのかわからなかった人も、コミュニケーションが生まれるにつれて、舞台上にひきつけられてくるのがわかります」

ボランティアの落語家と区民センターで始めた「寄席ぼんじゅう亭」は、今年1月、100回を迎えました。チラシやポスターの製作、印刷を引き受け、「冬は自転車でポスターを貼って回るのがほんとに辛いですよ」といいたながらも、どこか楽しそうなサクマさん。華やかなステージは、地道な活動に支えられているのです。

サクマさんのもうひとつの趣味は写真。風景や鉄道をテーマに年2回、まちづくりセンターで写真展を開き、デイサービスでスライドショーを上映して喜ばれています。「写真はあくまでも趣味。マジックは趣味を越えた道楽です」という笑顔が決め手のサクマさんでした。

\*沿線別にイベントやボランティア  
情報を入れていきます。  
詳細はP10～15をご覧ください。

優れたドキュメンタリー映画を観る会  
4/18～25 下高井戸シネマ P13

「後藤健二さんが私達に伝えたかったこと」  
3/5 (木) 19時～ 男女共同参画センターらぶらす  
世田谷こどもいのちのネットワーク P13

福祉施設のための  
ボランティア受け入れ講座  
3/7 (土) 14時～16時  
世田谷ボランティアビューロー P15

### ●小田急線沿線

- ☆フリースクールのボランティア募集 詳細 P11
- ☆視覚障がいのある女性の通院付き添い 詳細 P12

春・夢フェスタ  
3/10時～16時 梅丘商店街  
世田谷ボランティアビューロー P14

おたがいさまフェスタ  
3/15 (日) 10時半～15時  
世田谷ボランティアセンター

「物語」2015  
「介護をかんがえる」演劇発表会  
3/15 (日) 15時～ シアタートラム  
世田谷パブリックシアター P14

「個人情報」を、今一度学ぼう  
3/5 (木) 15時～17時  
世田谷ボランティアセンター P14

【助成】世田谷まちづくりファンド  
事前相談 2/16～4/17  
応募締切 4/30 (木) 郵送必着  
世田谷トラストまちづくり 詳細P15

おたがい  
さまMAP



# OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

## ● 京王線沿線

- ☆将棋が好きな方、大募集 詳細 P10
- ☆障がい児放課後支援有償スタッフ募集 詳細 P12

## ● 世田谷線沿線

- ☆機織りの技術指導 有償スタッフ募集 詳細 P12
- ☆障がい児放課後支援 有償スタッフ募集 詳細 P12

聞こえに不自由な人との  
交流に必要な手話学習  
3/22 (日) 13時半～16時  
総合福祉センター  
世田谷区難聴者の会 P13

## ● 東急線沿線

- ☆おたがいさまフェスタボランティア募集 詳細 P10
- ☆近隣への買い物の同行をしてくださる方募集 詳細 P10
- ☆外国人に日本語を教えるボランティア募集 詳細 P10
- ☆ゲートボールを教えてください方募集 詳細 P11
- ☆情報誌「セボネ」の編集委員募集 詳細 P11
- ☆近隣への外出に同行してくださる方募集 詳細 P11
- ☆50代女性の自宅での付き添い募集 (有償) 詳細 P11
- ☆災害ボランティアセンター臨時職員募集 詳細 P12

ぼくんちマーケット  
3/7 (土) 10時～羽根木公園  
フリースクール僕んち親の会 P14

福祉  
ボ  
3  
代田

2015 梅  
3/8 (日) 1  
梅丘ボランテ

地域の  
介助  
3/22  
世田

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。  
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにお  
としたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。  
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご利用ください。

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

## ボランティア求む

### 東 「おたがいさまフェスタ」 ボランティア募集

『おたがいさまフェスタ』は、三軒茶屋を中心に活動するボランティア活動団体やNPO、福祉施設など様々な人が集い、開催するお祭りです。パーム下馬にある『世田谷ボランティアセンター』『ケアセンターふらっと』『下馬福祉工房』が共同で開催します。

フェスタに参加して、一緒に楽しみましょう！前日から手伝ってくださるボランティア、当日のボランティアを大募集中です。

●内容／【前日】会場設営（テント張り、机の移動など）、掲示物の準備

### 京 将棋が好きな方、大募集！

デイ・ホーム千歳では、利用者の将棋のお相手をして下さる方を募集しています。みなさん、将棋が大好きな方です。お話好きな方が多く、難しいコミュニケーション技術は必要ありません。特に月曜日と土曜日を募集しています。が、時間や曜日は応相談。どうぞ、お気軽にご連絡ください！

●日時／月曜・土曜 13時～15時

【当日】子ども向けコーナーやスタンダラー、カフェコーナーのお手伝い、「しもうま福祉工房」でのクッキー販売・ゲームサポート、「ケアセンターふらっと」模擬店のお手伝いなど

●日時／【前日】3月14日（土）13時～17時【当日】3月15日（日）9時～18時（イベントは10時半～15時）

※別途事前に打合せを予定

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 戸田・今関  
TEL 5712・5101  
setabor@otagaisama.or.jp

（その他の曜日・時間帯でも応相談）

●場所／デイ・ホーム千歳  
●交通／千歳馬山駅発 北野行関東バスで10分 給田境徒歩2分  
●問合せ／デイ・ホーム千歳 担当 新田・氏家  
TEL 3607・2282  
chtose.somu@keisinen.or.jp  
<http://www.keisinen.or.jp/>

### 東 近隣への買い物同行をしてくださる方募集

等々力7丁目にお住まいの80代の女性が近隣（スーパ―や二子玉川の高島屋など）への買い物同行をしてくださる女性の方を探しています。

数か月前に圧迫骨折をし、現在リハビリをしています。ゆっくりであれば歩きますが、外出には車いすを利用しています。

平日でも土日でも、日中で1時間半くらいからお手伝いを頂ける方を探しています。時間は、ご協

### 東 外国人に日本語を教えるボランティア募集

地域で生活する外国人の日本語学習をお手伝いするボランティアを募集しています。特別な資格は要りません。誠実に取り組んでいただける方、お待ちしています。詳しいことは電話またはメールでご説明いたしますのでご連絡ください。

①日時／毎週水曜日10時～11時半  
●場所／世田谷ボランティアセンター  
●交通／三軒茶屋駅徒歩12分  
●条件／年会費1000円にこ

かいただけの方のご都合に合わせて決めたいと思います。穏やかな方で、ゆっくりと関わってくださる方を探しています。

●日時／平日でも、土日でも可。日中の1時間半くらい（応相談）  
●交通／尾山台駅徒歩10分  
●条件／女性

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木  
TEL 5712・5101  
suzuki@otagaisama.or.jp

協力ください。

●問合せ／JCA千歳船橋 担当 平野  
090・8452・6929  
hirano3160@yahoo.co.jp  
<http://ja-chtosefunabashi.jindo.com/>  
②日時／毎週木曜日10時～12時  
●場所／世田谷ボランティアセンター  
●交通／三軒茶屋駅徒歩12分  
●問合せ／JCA三軒茶屋教室 担当 古井  
TEL 3426・0087

## 東 ゲートボールを教えてください方募集

ゲートボール初心者向けに、ルールを楽しく教えていただける方を探しています。主に高齢者で、デイサービス等を利用していらっしゃる方を対象に、体験講座を開催する予定です。場所と道具はありません。教えていただける人材がいなくて、力を貸してください。よろし

## 小 フリースクールのボランティア募集

子どもたち・若者の居場所、手づくりの育ちの場として20年運営してきましたが、近年、更にこうした学校外の場の必要が高まっています。平日の昼間動ける、子ども好きの方を求めています。  
●内容/子どもたちとのものづくり、料理、スポーツ、音楽、語

## 東 情報誌「セボネ」の編集委員募集

世田谷ボランティア協会では、毎月1日に情報誌「セボネ(世田谷ボランティアネットワークの略)」を発行しています。区内の市民活動や地域福祉にかかわる取り組みや活動する団体・個人を取り組んで記事にしてください。編集委員を募集しています。市民活動や地域福祉に関心のある方、取材をしながら地域のことをもっと知っ

くお願いします。

●日時/4月頃より(曜日、時間は相談)

●場所/池尻三丁目公園

●交通/池尻大橋駅徒歩15分

●問合せ/池尻あんしんすこやかセンター 担当 河野

TEL 5433・2512

り合い、おでかけ、イベント、教材づくり、通信の編集管理など。

●場所/フリースクール僕んち

●交通/梅ヶ丘駅、東松原駅徒歩

10分

●問合せ/フリースクール僕んち

TEL 3327・7142

ていきたいと考えている方を募集しています。

●条件/毎月1回平日の夜(18時

~20時頃まで)に行われる編集

会議に参加できる方。半年間以

上継続的にかかわれる方。

●問合せ/世田谷ボランティア

センター 担当 宮崎

TEL 5712・5101

niyazaki@otagaisama.or.jp

## 東 近隣への外出に同行してください方募集

弦巻4丁目にお住まいの認知症初期症状のある女性が近隣への散歩に同行をしてくださる女性の方を探しています。

グループホームで生活をしていて、外出をすることを楽しみにしていますが、サポートがないと外出が難しいため、同行して下さる方を探しています。1時間くらい近くのお店に買い物に行ったりできたらと思っています。周りへの注意がなくなってしまう時があり、道路を渡るときなど少し心配があり、ちょっとした声かけを必

要としています。楽しく会話をしながら散歩を楽しめたらと思います。時間は、ご協力いただける方のご都合に合わせて決めたいと思います。ゆつくりと関わってください方を探しています。

●日時/平日でも、土日でも可。日中の1時間くらい(応相談)

●交通/桜新町駅徒歩5分

●条件/女性

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101

suzuki@otagaisama.or.jp

## 有償スタッフ募集

### 東 50代女性の自宅での付き添い募集

深沢にお住まいの50代女性が、自宅での付き添いを求めています。家事全般はできますが、更年期の症状でひとりでの不安になります。誰か一緒にいてくれる、少し不安が解消されます。自宅と一緒に付き添ってください方、お待ちしております。

●日時/平日の朝〜夕方間で

曜日、時間帯、頻度については

ご相談させていただきます。

●場所/世田谷区深沢

●条件/女性(60代くらいから)

自宅で小型犬を飼っているのが苦手でない方。謝礼あり。

交通費支給

●問合せ/玉川ボランティア

センター

TEL 3707・3528

tanabara@otagaisama.or.jp

## 有償スタッフ募集

### 世 機織りの技術指導をしていただけの方を募集

- 日本伝統工芸である藍染め・陶芸・組紐・刺し子などを仕事として活動している知的障害者と精神障害者の方々が通う施設で、機織りの作業を週1回指導していただく方を募集しています。主な仕事内容は、技術指導、見守り、作業工程内での不具合の対応、織り上げたものを加工するなどがあります。加工は主にミシンでの縫製ですが、出来なくても結構です。
- 日時/毎週火曜日の9時～15時まで(12時～13時は昼休み)
- 場所/藍工房(若林5・2・9三喜ビル)
- 交通/若林駅徒歩3分
- 条件/機織りの経験がある方、障がい者支援を経験されたことがある方が望ましいです。
- 問合せ/社会福祉法人 藍担当 原田  
TEL 3412・1366

### 京世 障がい児放課後支援・有償スタッフ募集

- 障がい児の放課後支援。元気な子どもたちと一緒に運動やクッキング、アートや音楽、外出等の支援をしてくださる方を募集しています。
- 日時/月曜～土曜の間で週1回、週2、3回(応相談) 14時～19時(ただし土曜、夏休み期間は13時45分～18時45分)
- 場所/①デイサービスにじのこ給田(世田谷区給田3・14・7給田地区会館内)、②デイサービスにじのこ赤堤(世田谷区赤堤1・8・19第一居成ビル2階)
- 交通/①京王線千歳烏山駅徒歩15分②世田谷線松原駅徒歩4分
- 条件/明るく明朗で子どもが好きな方、ヘルパー2級歓迎、土曜勤務できる方歓迎。
- 時給950円、交通費別途支給。
- 募集人数/4名
- 問合せ/特定非営利活動法人にじのこ  
①にじのこ給田 担当 相吉  
TEL 3308・5482  
②にじのこ赤堤 担当 大林  
TEL 6379・5266

### 東 災害ボランティアセンターの臨時職員募集

- せたがや災害ボランティアセンターでは、災害ボランティアセンターの運営に関する業務にかかわるスタッフを募集しています。
- 勤務地/世田谷ボランティアセンター(下馬2・20・14)
- 交通/三軒茶屋駅徒歩12分
- 期間/4月1日～2016年3月31日まで(年度ごとの契約、更新あり)
- 勤務日時/火曜～土曜日のうち週3日 9時45分～18時(ただし会議が夜間にある場合13時45分～22時)
- 待遇/時給920円(交通費実費支給、雇用保険あり)
- 条件/20歳以上で災害ボランティア活動の経験がある人、防災や地域コミュニケーションに関心がある人、PC操作(特にホームページやSNS)に慣れている方。
- 応募/履歴書(写真貼付)と作文(応募された機12000字程度を郵送または持参)
- 1次選考/書類、2次選考/面接(3月下旬)
- 締切/3月24日(火) 必着
- 問合せ/世田谷ボランティア協会 スタッフ採用係  
TEL 5712・5101  
setabora@otagaisana.or.jp

### 小 視覚障がいのある女性の通院の付き添い募集

- ほへみ経堂に通所している、視覚障害がある女性が、主に通院する時に同行して下さる人を探しています。通常の通院にはヘルパーを利用してありますが、風邪をひいた場合など、緊急で一緒に通院して頂ける人を探しています。
- 利用者がお願したい時に、時間が空いていた場合に限り、手をお貸しください。まずは、お気軽にお問い合わせ下さい。
- 日時/空いた時間で1回2時間(不定期)
- 交通/自宅最寄り駅は経堂駅
- 条件/世田谷区障害者緊急介護人派遣制度に登録したたくと、1時間1000円を支給されます。交通費は依頼者が負担します。
- 問合せ/ほへみ経堂 担当 久我  
TEL 5451・5151  
spq3ct9@diary.ocn.ne.jp

## 講座・その他・募集

### ふくしまっ子リフレッシュin世田谷 Part 10

福島の子どもたちが春休みに世田谷に遊びに来ます。今も外遊びがままならない福島の子どもたちと保護者を世田谷にお招きし、思い切り外遊びを楽しんでもらいましょう！参加者負担を軽減するため、みなさまからの寄付を募っています。ご連絡いただければこれまでの報告書もお分けします。

●実施期間／3月26日～31日

●いずれかの口座にお振込みをお願いします。

●城南信用金庫

●経堂支店(028)普通 401710

**小** 世田谷区難聴者の会では、毎月1回わかりやすい手話の勉強を続けています。難聴の方、または高齢のため聞こえが悪くなり、人との会話が不自由で引きこもりがちな方、ぜひご参加ください。

●日時／3月22日(日) 13時半～16時

●場所／世田谷区立総合福祉セン

三菱東京UFJ銀行

経堂支店(091)普通 0268263

ゆうちょ銀行

記号 10190 番号 62213481

ゆうちょ銀行に他の金融機関から振り込む場合

店名(018)普通6221348

口座名義「福島の子どもたち」とともに「世田谷の会」

●主催／福島の子どもたちとともに・世田谷の会

●fukusetatononi@gmail.com

http://savefukukids.jimdo.com/

●TEL 33660・9319

### 小 世田谷区難聴者の会での交流に必要な手話学習

ター

●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分

●対象／難聴者および難聴・聴覚障がいに関心がある方

●参加費／無料

●申込／電話かFAXで(当日参加も可)

●問合せ／千葉(FAX兼用)

TEL 33660・9319

### 京世「優れたドキュメンタリー映画を観る会」開催

毎年この時期に、劇場では見ることのないドキュメンタリー映画の上映をします。4月18日から25日の朝と夜の8日間です。

戦後70年、沖縄復帰から43年の今年は『来し方、行く末』をテーマに、この国と、この国に住む人びとをさまざまな角度から追ったドキュメンタリーフィルム12作品が、現在、過去そして未来を紡ぎます。上映作品等、詳細は劇場へお問合せいただくか「下高井戸シネマ」で検索ください。

●公開前夜祭／『ASAHI ZEN』

### 小 世田谷こどもいのちのネットワーク・緊急企画 後藤健二さんが私達に伝えたかったこと

20年近く「こども」「いのち」をキーワードに活動を行ってきた「世田谷こどもいのちのネットワーク」では、武力紛争に巻き込まれた人びとの惨状を、生命をかけて世界に示してきた後藤健二さんが伝えたかったメッセージを読み解いていきたいと思えます。

●日時／3月5日(木)19時～(開場18時半)

人間は、どこへ行く』の上映と監督トークショー(限定150席)

●前夜祭日時／4月17日(金)18時半開場、19時開演

●場所／下高井戸シネマ

●交通／下高井戸駅徒歩2分

●料金(前夜祭)／一般・学生1700円、シニアアゲイブ者・高校生以下1500円

●問合せ／下高井戸シネマ

TEL 36628・10008

http://www.shimotakaidocinema.com/

●スピーカー／志葉玲(ジャーナリスト)、杉浦ひとみ(弁護士)

●場所／男女共同参画センターらぶらす11階第3研修室

●参加費／500円(会員無料)

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク

TEL 3427・8447

marzoh@gmail.com

# 講座・その他・募集

## 東 『個人情報』を、今一度学ぼう

毎日の業務の中で出てくる気になる言葉『個人情報』。  
「スイマセン!個人情報で…」と話していませんか? もしもしたら、不要なることをして業務を阻害していたり、やるべきことをできていなかったりするかもしれません!

『個人情報』とは何か。どう扱ったらよいか。どう扱ったらいけないかを、今一度学びませんか?  
●講師/牧野和夫氏(弁護士、個人情報保護法ハンドブック)

## 小京

### ぼくんちマーケット

子どもたち・若者の居場所、手づくりの育ちの場として21年運営してきましたが、近年さらにこうした学校外の場の必要が高まってきています。自助努力の一環としてのバザーです。どうぞご協力ください。手づくり品コーナーや、相談コーナーも設ける予定です。関心をお持ちの方、気軽に声をかけてください。ボランティアさん

も求めています。

- 日時/3月7日(土)10時~
- 雨天時は翌8日に順延)
- 場所/羽根木公園東入口広場
- 交通/小田急線梅ヶ丘駅 井の頭線東松原駅 徒歩10分
- 問合せ/フリースクール僕んち親の会
- TEL 3327・7142

著者)

- 日時/3月5日(木)15時~17時
- 場所/世田谷ボランティアセンター
- 参加費/3000円
- 対象/非営利団体で業務をしている方 定員10人
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
- TEL 5712・5101
- suzuki@otagaisana.or.jp

## 小

### 2015梅・夢フェスタ

梅丘商店街恒例の『梅・夢フェスタ』! フリーマーケットや国士館大学吹奏楽部パレードなど、楽しいイベントがいっぱい!  
梅丘ボランティアビューローも、ものづくりボランティアグループとともに出店します。ぜひ、遊びに来てくださいな。

- 日時/3月8日(日)10時~16時(※雨天の場合、15日(日)に順延)

## 東

### 地域の物語2015

#### 演劇発表会

介助・介護の現場では、家族として、仕事として、あるいはもっと違うあり方で、誰かの助けを借りる/助けになる、ということが行われています。私的な生活の場に他者が存在するその現場は、介助する側、される側が、どのように関係し、向き合っていくかが問われる複雑な場所です。

今年の『地域の物語2015 あつちはこっち、こっちはあつち』介助・介護をかんがえる』では、そうした現場に仕事や家族という立場から関わる20代から70代までの参加者たちが、3ヶ月かけて、

### 介助・介護をかんがえる

改めて自分自身やまわりの人に向き合い、考えてきた成果をまとめました。みなさんと一緒に考える場がつくれたら嬉しいです。ぜひいらしてください。

- 日時/3月22日(日)14時半開場15時開演(要事前申込)
- 場所/シアタートラム(全席自由、入場無料、車いすスペースあり)
- ※同日開催『みんなの産み育て』発表会 10時半~18時
- 問合せ・申込み/世田谷パブリックシアターチケットセンター
- TEL 5432・1515

## 小 福祉施設のためのボランティア受け入れ講座

ボランティアを受け入れるのはなぜ？ 他の施設のボランティア受け入れの実情は？ 施設でボランティア受け入れを担当するスタッフと、利用者、ボランティアのそれぞれの気持ちを尊重し、より良い関係をつくる方向を探ります。

他の施設のボランティア担当の方々と交流の中でおさえておきたいポイントを学びます。現在区内の施設で活動しているボランティアさんに率直な感想を聞く時間

### HAPPY WALL PROJECT 参加施設・団体を募集します

「HAPPY WALL PROJECT」は日本イベントが行っている社会貢献活動の一環です。手をかけたくてもさまざまな理由でメンテナンスが行き届いていない室内壁はありませんか？ 職員のみなさん、利用者のみなさんできれいにしましょう。みなさんの居場所がより素敵な場所になるようサポートいたします。

●応募条件／①プロジェクトに共感し参加してくださる施設・団体、②写真撮影・施設名明記が

も設ける予定です。他の施設のボランティア活動、またボランティアする人の気持ちを知る貴重な機会です。多くのみなさんのご参加をお待ちしています。

●日時／3月7日(土) 14時～16時  
●場所／代田ボランティアビューロ―

●参加費／500円  
●問合せ／代田ボランティアビューロ―

TEL 3419・4545  
databora@otagaisama.or.jp

可能、③活動の告知・当日の参加者集めが可能 ④刷毛、ローラー、バケツ、養生テープなどの用意が可能(※内装水性塗料なので外での使用は不可)

●申込方法／メールまたは電話で  
●問合せ／HAPPY WALL PROJECT 担当 土井

TEL 3347・9077  
(水曜定休)

info-rb@npc:riponpaintco.jp  
http://room-bloom.com/  
happy-wall-project/

## 助成

### 第23回公益信託世田谷まちづくりファンド

「世田谷まちづくりファンド」は、「世田谷区を対象とした住みよい環境づくりにつながるまちづくり活動」に助成する制度です。

活動のきっかけは、モノづくりや環境づくりに限らず幅広い動機や目的のものを含みますが、助成する活動は将来的にその成果が地域の住みよい環境づくりにつながるものを対象とします。

●はじめの一步部門  
これからまちづくりの第一歩を踏み出そうとしているグループ活動に対して助成  
助成額／一律5万円/件  
●まちづくり活動部門  
地域の住みよい環境づくりにめざす住民グループのさまざまなまちづくり活動に対して助成  
助成額／5～50万円/件  
●10代まちづくり部門  
10代のみなさんが自分たちで考えるより良いまちをめざしたまちづくり活動に対して助成  
助成額／10万円以内/件

●(特別部門)災害対策・復興まちづくり部門  
東北の被災地と連携した活動を

通して東日本大震災の復興まちづくりに学び、世田谷の災害対策などを市民サイドから提言し、区民と分かち合う住民主体のまちづくり活動に助成  
助成総額／300万円まで  
●応募事前相談／2月16日(月)～4月17日(金)(土日祝日を除く)9時～17時、1団体1時間程度。事前にまちづくりファンド担当(TEL 6407・3313)まで要電話予約。  
●事前相談場所／北沢タウンホール7階 財団事務所  
●応募方法／所定の応募用紙(ホームページよりダウンロード可)に必要事項を記入のうえ郵送  
●応募期間／4月20日(月)～4月30日(木)(郵送必着)  
●郵送先・問合せ／三井住友信託銀行リテール受託事業部 公益信託グループ 公益信託世田谷まちづくりファンド担当  
TEL 5232・8910  
東京都港区芝3-33-1  
http://www.setagayam.or.jp/trust/fund/application.html

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

### ●いのちを大切にするとところ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8741 FAX (5829)8743

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬2-20-9 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8742 FAX (5829)8743

### ●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ!

### ◆センター&ビューローより

3月15日(日)10時半~15時、「おたがいさまフェスタ」を開催します! おいしいものあり、楽しい笑顔あり、心もお腹も満足する一日をいっしょに過ごしませんか? 当日ボランティア募集中!

### ◆ふらっと&withより

ひと雨毎に、春の匂いを感じられるようになりました。四季の移り変わりを楽しめることは日本特有の文化ですね。春を楽しみにご一緒にませんか。外出ボランティア、毎日募集中!

### ◆チャイルドラインより

小・中学校の子どもたちへ広報紙「ちゃ〜ら」を配りました。春は気持ちも上がったり下がったり。揺れ動く子どもの気持ちを受けとめます。電話の受け手が不足しています! ただいま受け手養成講座準備中。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

### 編集後記

■セボネ1月号のまちの市民力でご紹介した「タガヤセ大蔵」のオーナー安藤さんが、3月14日(土)に北沢タウンホールで行われる空き家・空き部屋等地域貢献活用フォーラム『オーナーとの出会いのデザイン』にパネリストとして登場されるそうです。空き家を活用して、2月号特集の「夕ごはん会」のような取り組みも地域に広げられたらいいなと思います。

■ボラセンの恒例イベント「おたがいさまフェスタ」を数年前から毎年手伝ってくれている高校生のYくん。Yくんがこの春高校卒業と聞いて、スタッフ一同「おっ! もう卒業?」とびっくり。若者は一年一年の変化が大きく、成長もあっという間ですね。私も一歩ずつ、歩みを進めたいと思いました。(み)

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人  
興 柁 寛